

古賀市走ろう会々報

1977年5月1日(結成)

2021年10月31日(535号)

会長談話

10月になり、過ごしやすい日が増え走りのベストシーズンが到来しました。新型コロナの緊急事態宣言は解除されましたが、コロナ感染の収拾にはまだまだ時間がかかりそうです。これまで通り継続して気を抜かず充分注意しましょう。日曜日の朝練習、土曜日のLSD、山登り等の参加をお願いいたします。MTH(無理せず、楽しく、走りましょう)で行動しましょう。

第62回古賀市民駅伝競走大会(自治大会)が、縮小して後半だけの開催になりました、Aチーム浦川さん、江口さん、花田さん、池田さん、平松さん、山鹿さん またBチームは大坪さん、栗栖さん、中野さん、塩田さん、小數賀、有山さん、交通整理員は三波さん、鶴田さん、応援される方も含めて皆さんよろしくお祈いします。参加される方は無理せずに楽しんで走ってください。10月28日で70歳になりますがまたまた無駄な買い物をしました。スズキのセルボ660Gリミテッド4WD直列3気筒DOHCターボ最高出力60ps最大トルク/回転数83/3000。しばらくは整備しながら楽しめそうです。

実質5月から会社生活を卒業して、生活のリズムを作るために週間行動を決めてみました。月曜は一人だけで谷山に宿泊で自炊料理、火曜は薬王寺ランと谷山庭畑整備、水曜は妻とドライブ、魚釣り。木曜は早朝山登りとアパート清掃。金曜は新宮ランと図書館と自由研究、土曜はLSDと休息。日曜は朝練と映画・音楽。しかしながらコロナもありまた怠惰の性格もあってなかなか上手く出来ませんが、継続できるように努力をしたいと思います。

メールにアメリカンエクスプレスカードから、40万円の請求書の案内が届きました、身に覚えがないのとカードそのものを作った記憶がないので、電話で問い合わせをしました。該当が無いということで安心しましたが、メールにある問い合わせアドレスは末尾の文字が違っていました、メール問い合

わせをしなくて正解でした、最近不明なメールが多いですが全部無視しています。皆さん注意してくださいね。(小數賀匡)



新立山登山



会長御子息パン屋



新宮パン屋



在自山登山



六ヶ岳登山



福津市西郷川花園

給水ポイント 急に秋が深まり気持ちのよい晴天が続いています。今日は木曜日。走ろう会朝飯前の山歩きの日です。雑事に追われている日々ですが、早朝に出発し朝9時前には帰宅できるありがたいイベントです。日曜ランと土曜のパン食いLSD、木曜山歩きと彩り豊かな日々を過ごすことができ、走ろう会の皆様と丈夫な体に産み育ててくれた両親に感謝感謝です。

先月走ろう会主催のランニング教室にスタッフとして参加させていただきました。受講者は5名で皆さん走り始めてランニングの魅力に取りつかれたという感じの方々でした。もっと長く速く本格的に走りたいという思いから参加なさったのだと思います。キラキラしたまなざしの参加者を見ると、私も走り始めた頃の夜明が待ち遠しく真冬の寒風をものともせず家に飛び出していた自分を懐かしく思い出しました。

さが桜マラソンがオンラインになり残念ですが、年明けには何かハーフの大会で走りたいと思っています。モチベーションアップのためにランニングシューズを買い替えようとショップへ行ってみました。なかなか好きな色のシューズがありません。実は走り始めた頃から憧れの長崎さんご愛用のアディダスのボストンを履いています。お気に入りの一足を見つけて紅葉の森を気持ちよく走ろうかい！

(池田美佳)

松下幸之助について 寄稿

再度、松下幸之助のことを紹介させていただきます。松下幸之助は起業して会社とはどういうものかと考えを巡らせます。そしてある宗教団体を見学してその繁栄、その盛大ぶりにいたく心を打たれ、宗教の使命を考えました。そして会社にも使命があることを知りました。すなわち、実業人の使命は貧乏の克服であると。社会全体を貧より救ってこれを富ませることにあり、商売や生産は、商店を繁栄させるのではなく、社会が富み栄えていく原動力として活動していくのが目的であると。その方法を水道の水に例えて言っています。松下幸之助曰く、水

道の水は、加工されて価（あたい）があるものだけれど、道端にある水道の栓をひねって、あまりの暑さに行人が喉を潤さんとて存分にこれを飲んでも、無作法は咎められても、水そのものについての咎めだてはないのである。これはなせか。それはその価があまりにも安いからである。なぜ価が安いか、それはその生産量があまりにも多く豊富だからで、無尽蔵に等しいからである。ここだ、生産人のねらいどころたる真の使命は。すべての物資を水のごとく無尽蔵たらしめよう。水のごとく価を廉ならしめよう。ここに来て初めて貧は征服される。宗教、道徳の精神的な安定と、物資の無尽蔵な配給とが相まって、初めて人生の幸福が安定する。ここに実業人の真の使命がある。松下電器の真の使命は、生産につぐ生産により、物資をして無尽蔵たらしめ、もって楽土の建設を本旨とする。これが、松下幸之助の有名な「水道哲学」です。これを発表したのは、昭和7年で、創業15年目でした。昨今はものあまりの世の中でピンとこないかも知れませんが、昭和初期の物資が少なく貧乏な世の中にあつて、会社の目的が自社が儲けることだけではなく、社会の富を増大させて貧を無くするのが真の目的だとの考えに行き着いたことがすごいと思います。松下幸之助は、9歳で丁稚奉公に出たので満足に勉強していません。日々の仕事の中から学び、宗教法人の視察からも学んでいます。現代人は、良い学校を出ていても日々の暮らしの中でボーとして暮らしているような気がします。このように感じるのは、私だけでしょうか？私も努めて人の話を聞いて勉強していきたいと思います。

(有山伸司)

編集後記 ようやくコロナ禍の終息が見えてきましたが、第6波の危惧は色濃く残っています。ところが、走ろう会では、そんなことにお構いなしに、登山にLSDに駅伝にと大車輪です。それもこれも健康な体があったればこそです。会長も古希を迎えられて、益々盛んです。少しずつではありますが、ランニング大会も催されてくるようになりました。来季の予定を考える時期になりましたが、登山の充実に取り組みたいと思います。登山は肉体的にも精神的にも金銭的にもいい趣味だと思います。ぜひ参加ください。(平松)

**編集委員：平松 實
池田美佳**

発行所：古賀市走ろう会

Eメール gudou@taj.bbiq.jp

文中で、敬称は、略しています。悪しからずご了承ください。

会員大募集 一緒に走る健康な仲間を募集しています。

日曜日 朝7時00分市役所前広場でお待ちしています。

年会費：3,000円 会員数：65名(男性55名 女性10名)

年齢10代～70代 創部以来42年